

# ディーゴ ガイド



**2026.8.10-16**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior  
Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II  
Peter 3:18

## L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(1〜3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

## セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

38:1 次のような【主】のことばが私にあった。

38:2 「人の子よ。メシエクとトバルの大首長である、マゴグの地のゴグに顔を向け、彼に預言せよ。

38:3 『【神】である主はこう言われる。メシエクとトバルの大首長であるゴグよ。今、わたしはおまえを敵とする。

38:4 わたしはおまえを引き回し、おまえのあごに鉤をかけ、おまえと、おまえの全軍勢を出陣させる。それはみな完全に武装した馬や騎兵、大盾と盾を持ち、みな剣を取る大集団だ。

38:5 ペルシアとクシュとプテも彼らとともにいて、みな盾を持ち、かぶとを着けている。

38:6 ゴメルとそのすべての軍隊、北の果てのベテ・トガルマとそのすべての軍隊、それに多くの国々の民がおまえとともにいる。

38:7 備えをせよ。おまえも、おまえのもとに召集された全集団も構えよ。おまえは彼らを統率せよ。

38:8 多くの日が過ぎて、おまえは徴集され、多くの年月の後、おまえは、一つの国に侵入する。そこは剣から立ち直り、多くの国々の民の中から、久しく廃墟であったイスラエルの山々に集められた者たちの国である。その民は国々の民の中から導き出され、みな安らかに住んでいる。

38:9 おまえは嵐のように攻め上り、おまえと、おまえの全部隊、それに、おまえにつく多くの国々の民は、地をおおう雲のようになる。

38:10 【神】である主はこう言う。その日には、おまえの心に様々なことが思い浮かぶ。

おまえは悪巧みをめぐらして、  
38:11 こう言うだろう。「私は無防備な国に攻め上ろう。安心して暮らす平穏な者たちのところに侵入しよう。彼らはみな城壁もなく住んでいる。かんぬきも門もない」と。  
38:12 それは、おまえが略奪し、獲物をかすめ奪うため、また今は人の住むようになった廃墟と、国々から集められて地の中心に住み、家畜と財産を所有した民とに向かって手を伸ばすためだ。

38:13 シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、おまえに言うだろう。「おまえは分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために隊を構えたのか。銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪しようとするつもりか」と。』

イスラエルは神の民として選ばれましたが、しかし、神様の御心に従うことができず、警告通りに苦難を経験しました。しかし神様はその選びと慈しみのゆえに彼らを回復しました。それは福音の型であり、私たちも同じように選びと慈しみにあずかることを意味します。

そしてそれはまた神様の義をも表すできごこでもあります。すなわちイスラエルを苦難にあわせた国々をさばくということです。ここではゴグについて預言されていますが、神に敵対するこれらの勢力は滅ぼされるということです。

主の福音の愛と、また主の義とを覚え、ともに義なる主に信頼してゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 11日 火曜

### エゼキエル



38:14 それゆえ、人の子よ、預言してゴグに言え。『【神】である主はこう言われる。わたしの民イスラエルが安心して住んでいるとき、まさに、その日、おまえは知ることになる。

38:15 おまえは北の果てのおまえの国から、多くの国々の民とともに来る。彼らはみな馬に乗る者で、大集団、大軍勢だ。

38:16 おまえはわたしの民イスラエルを攻めに上り、地をおおう雲ようになる。終わりの日に、そのことは起こる。ゴグよ、わたしはおまえに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがおまえを使って、国々の目の前にわたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知るためだ。

38:17 【神】である主はこう言う。おまえは、わたしが昔、わたしのしもべであるイスラエルの預言者たちを通して語った、まさにその者ではないか。この預言者たちは長年にわたり、わたしがおまえに彼らを攻めさせると預言していたのだ。』

38:18 ゴグがイスラエルの地を攻めるその日——【神】である主のことば——わたしの憤りは激しく燃え上がる。

38:19 わたしは、ねたみをもって、激しい怒りの火をもって告げる。その日には必ずイスラエルの地に大きな地震が起こる。

38:20 海の魚、空の鳥、野の獣、地面を這うすべてのもの、地上のすべての人間は、わたしの前で震え上がり、山々はくつがえり、崖は落ち、すべての城壁は地に倒れる。

38:21 わたしは剣を呼び寄せて、わたしのすべての山々でゴグを攻めさせる——【神】で

ある主のことば——。剣による同士討ちが起こる。

38:22 わたしは疫病と流血で彼に罰を下し、彼と、彼の部隊と、彼とともにいる多くの国々の民の上に豪雨、雹、火、硫黄を降らせる。

38:23 わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の見ている前でわたしを知らせる。そのとき彼らは、わたしが【主】であることを知る。」

「わたしが聖であることを示し、彼らがわたしを知る」とあります。主を知らない人々は人間中心に生きようとしますし、自分の欲望を最優先することを当たり前のように生きますが、それでもその結果は神の存在を知ることになるというのですが、それはその身に苦難を招く時でしょう。

私たちは主に従うゆえに、自分の欲望を優先しませんから、何かを失うように感じることもあるかもしれませんが、最後は主を知ることになります。それは御心にかなる者を祝福してくださることゆに、主を知るのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 12日 水曜

### エゼキエル



奪し、かすめ奪った者たちからかすめ奪う  
——【神】である主のことば。

ゴグ、マゴグとはイスラエルを苦しめたことで、神様からさばかれる国のことです。ある人々はそれが実際にどの国であるかと推察します。いずれにしても、神様が滅ぼされるということは、単なる象徴ではなく現実の出来事です。

神様の主権と、また愛する者を守る愛を信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

39:1 「人の子よ、あなたはゴグに向かって預言せよ。『【神】である主はこう言われる。メシエクとトバルの大首長であるゴグよ、わたしはおまえを敵とする。

39:2 わたしはおまえを引き回し、おまえを駆りたて、北の果てから上らせ、イスラエルの山々に連れて来る。

39:3 おまえの左の手から弓をたたき落とし、右の手から矢を落とす。

39:4 おまえと、おまえのすべての部隊、おまえとともにいる国々の民は、イスラエルの山々に倒れ、わたしはおまえをあらゆる種類の猛禽や野獣の餌食とする。

39:5 おまえは野に倒れる。わたしがこれを語るからだ——【神】である主のことば——。

39:6 わたしはマゴグと、島々に安住している者たちに火を放つ。彼らは、わたしが【主】であることを知る。

39:7 わたしは、わたしの聖なる名をわたしの民イスラエルの中に告げ知らせ、二度とわたしの聖なる名を汚させない。諸国の民は、わたしが【主】であり、イスラエルの聖なる者であることを知る。

39:8 今、それは来て、成就する——【神】である主のことば——。それは、わたしが語ってきた日である。

39:9 イスラエルの町々の住民は出て来て、武器、すなわち、盾と大盾、弓と矢、手槍と槍を燃やし、それらで火をおこす。彼らは、七年間それらで火を燃やす。

39:10 彼らは野から薪を運んだり、森から木を切り出したりする必要はない。武器で火を燃やすからだ。彼らは略奪した者たちから略



## 13日 木曜

エゼキエル



39:11 その日、わたしは、イスラエルのうちに、ゴグのために墓場となる場所を設ける。それは、海の東にある去りゆく者たちのための谷である。そこは通行人の道をふさぐ。そこにゴグと、その大軍すべてが埋められ、そこはハモン・ゴグの谷と呼ばれる。

39:12 七か月間、イスラエルの家は、その地をきよめるために彼らを埋め続ける。

39:13 その国のすべての民が埋める。こうして、わたしの栄光が現れるとき、そのことは彼らにとって名誉となる——【神】である主のことば——。

39:14 すなわち、選り分けられた特定の人々が地を巡り歩き、去りゆく者たち、地の面に取り残されている者たちを埋めて、その地をきよめる。彼らは七か月の終わりまで探し回る。

39:15 巡り歩く者たちは地を巡り歩き、人間の骨を見ると、埋める者たちがそれをハモン・ゴグの谷に埋めるまで、そのそばに標識を立てておく。

39:16 その町の名はハモナとも言われる。こうして彼らは地をきよめる。』

39:17 人の子よ、【神】である主はこう言う。あらゆる種類の鳥と、あらゆる野の生き物に言え。『集まって来い。わたしがおまえたちのために屠るわたしのいけにえに、イスラエルの山々の上での大いなる祝宴に、四方から集まれ。おまえたちはその肉を食べ、その血を飲め。』

39:18 勇士たちの肉を食べ、地の君主たちの血を飲め。雄羊、子羊、雄やぎ、雄牛、それらはすべてバシヤンの肥えたものだ。

39:19 わたしがおまえたちのために屠ったいけにえの中から、脂肪をたらふく食べ、その血を酔うほど飲むがよい。

39:20 おまえたちはわたしの食卓で、馬や騎手、勇士やすべての戦士をたらふく食べる——【神】である主のことば。』

39:21 わたしが国々の間にわたしの栄光を現すとき、国々の民はみな、わたしが行ったわたしのさばきと、わたしが彼らの上に置いたわたしの手を見る。

39:22 その日以降、イスラエルの家は、わたしが彼らの神、【主】であることを知る。

39:23 国々の民は、イスラエルの家がわたしの信頼を裏切った咎のゆえに捕らえ移され、わたしが彼らから顔を隠したこと、また彼らを敵の手に渡したゆえに、彼らがみな剣に倒れたことを知る。

39:24 わたしは彼らの汚れと背きに応じて彼らを罰し、わたしの顔を彼らから隠した。』

39:25 それゆえ、【神】である主はこう言われる。「今、わたしはヤコブを回復させ、イスラエルの全家をあわれむ。これは、わが聖なる名への、わたしのねたみによる。

39:26 彼らが自分たちの地に、だれにも脅かされずに安らかに住むとき、彼らは自らの恥辱と、わたしに対するすべての不信との責めを負う。

39:27 わたしが彼らを諸国の民の間から帰らせ、彼らの敵の地から集めるとき、多くの国々が見ている前で、わたしは彼らのうちにわたしが聖であることを示す。

39:28 わたしは彼らを国々に引いて行かせたが、また彼らを彼らの地に集め、もう国々には一人も残さない。このとき彼らは、わ

たしが彼らの神、【主】であることを知る。

39:29 わたしは二度と、わたしの顔を彼らから隠すことはない。わたしの霊をイスラエルの家の上に注ぐからである——【神】である主のことば。』

イスラエルの全家（ユダを含む）の回復が記されています。ただし、ただ回復して良かったというわけではありません。

第一に「わたしの手を見る」「わたしが彼らの神、主であることを知ろう。」というように、神様の栄光が表わされています。私たちは主からの助けを求めますが、主の栄光に傷がつくような状態で、主のみわざが表されることはないのです。

第二に「イスラエルの家が、わたしに不信の罪を犯したために…彼らがみな剣に倒れたことを知ろう。」とあります。神様の義と愛が示されることによって、人間の罪が明かにもなるのです。私たちは神様の恵みをいただくほどに、自分自身の罪や不信仰を謙遜に見つめる必要があるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 14日 金曜

### エゼキエル



40:1 私たちが捕囚となって二十五年目の年の初め、その月の十日、都が占領されてから十四年目のちょうどその日に、【主】の御手が私の上にあり、私をそこへ連れて行った。  
40:2 すなわち、神々しい幻のうちに私はイスラエルの地へ連れて行かれ、非常に高い山の上に降ろされた。その南の方に、町のようなものが造られていた。

40:3 主が私をそこに連れて行くと、そこに一人の人がいた。その姿は青銅でできているようで、その手に麻のひもと測り竿を持って、門のところに立っていた。

40:4 その人は私に話しかけた。「人の子よ。あなたの目で見、耳で聞き、わたしがあなたに見せるすべてのことを心に留めよ。わたしがあなたを連れて来たのは、あなたにこれを見せるためだ。あなたが見ることをみな、イスラエルの家に告げよ。」

40:5 そこに、神殿の外側を囲んでいる壁があった。その人は手に六キュビトの測り竿を持っていた。その一キュビトは、普通の一キュビトに一手幅を足した長さであった。彼がその外壁の厚さを測ると一竿であり、その高さも一竿であった。

40:6 それから彼は東側に面した門に行き、その階段を上った。彼が門の敷居を測ると、その幅は一竿で、もう一つの門の敷居も幅は一竿であった。

40:7 控え室は長さ一竿、幅一竿であり、控え室と控え室の間は五キュビトであった。門の内側の玄関の間のそばにある敷居は一竿であった。

40:8 彼が門の内側の玄関の間を測ると一竿、

40:9 すなわち、門の玄関の間を測ると八キュビト、その壁柱は二キュビトで、門の玄関の間は内側にあった。

40:10 東門の控え室は両側に三つずつあり、三つとも同じ寸法であった。壁柱も、両側とも同じ寸法であった。

40:11 門の入り口の幅を測ると十キュビト、門の内のり幅の長さは十三キュビトであった。

40:12 控え室の前に出た仕切りは、両側ともそれぞれ一キュビトであった。控え室は両側とも六キュビトであった。

40:13 彼がその門を、控え室の片方の屋根の端からもう片方の屋根の端まで測ると、一つの入り口からもう一つの入り口までの幅は二十五キュビトであった。入り口と入り口は向かい合っていた。

40:14 壁柱を測ると六十キュビトであった。門の周囲を巡る壁柱は庭に面していた。

40:15 入り口の門の前から内側の門の玄関の間の前までは五十キュビトであり、

40:16 門の内側にある控え室と壁柱には格子窓が取り付けられ、玄関の間もそうであった。内側の周りには窓があり、壁柱には、なつめ椰子の木が彫刻してあった。

そばにはそれぞれ円柱が立っていた。

神様はイスラエルを回復してくださいましたが、それは不信仰なままで、それをいい加減にして赦すと言うものではありません。神殿を回復したように、主との関係回復が必須なのです。それは何よりも礼拝です。私たちは自分勝手な信仰スタイルを貫くことをせずに、主の求める礼拝をささげ、そこから主との関係をより良いものにして行く必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 15日 土曜

### エゼキエル



40:17 それから、彼は私を外庭に連れて行った。すると、そこには庭の周りに部屋があり、石畳があった。三十の部屋が石畳に面していた。

40:18 石畳は門のわきにあり、ちょうど門の長さと同じであった。これは下の石畳である。

40:19 彼が下の門の端から内庭の外の端までその幅を測ると、東も北も百キュビトであった。

40:20 彼は外庭にある北向きの門の長さと同幅を測った。

40:21 それには両側に三つずつ控え室があり、壁柱も玄関の間も先の門と同じ寸法であった。その長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトであった。

40:22 その窓も玄関の間もなつめ椰子の木の彫刻も、東向きの門と同じ寸法であった。七段の階段を上って行くと、その先に玄関の間があった。

40:23 東門と同様に、北門にも内庭の門が向かい合っていた。彼が門から門まで測ると、百キュビトであった。

40:24 次に、彼は私を南の方へ連れて行った。すると、そこに南向きの門があった。その壁柱と玄関の間を彼が測ると、それはほかの門と同じ寸法であった。

40:25 壁柱と玄関の間の周囲に窓があり、それはほかの窓と同じであった。門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトであった。

40:26 そこに上るのに七段の階段があり、その先に玄関の間があった。その両側の壁柱には、なつめ椰子の木が彫刻してあった。

40:27 内庭には南向きの門があり、彼が南の

方にこの門からもう一つの門まで測ると、百キュビトであった。

40:28 彼は私を、南門を通して内庭に連れて行った。南門を測ると、ほかの門と同じ寸法であった。

40:29 その控え室も壁柱も玄関の間もほかのと同じ寸法で、壁柱と玄関の間の周囲に窓があった。門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトであった。

40:30 玄関の間の周囲は長さ二十五キュビト、幅五キュビトであった。

40:31 その玄関の間は外庭に面し、その壁柱には、なつめ椰子の木が彫刻してあった。その階段は八段であった。

イスラエルの回復を預言しつつ、さらには終末的な回復が記されています。その回復は単に平和になったということだけではありません。神殿の回復なのです。つまり神様との関係が回復することこそ本当の回復であるということです。神様が中心であることが分かります。

私たちも神様にただ恵みを求めるのではなく、神様との関係回復、関係改善、関係の深化を求めましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



40:32 次に、彼は私を内庭の東の方に連れて行った。その門を測ると、ほかの門と同じ寸法であった。

40:33 その控え室も壁柱も玄関の間もほかのと同じ寸法で、壁柱と玄関の間の周囲に窓があった。門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトであった。

40:34 その玄関の間は外庭に面し、両側の壁柱には、なつめ椰子の木が彫刻してあった。階段は八段であった。

40:35 彼は私を北の門に連れて行った。それを測ると、ほかの門と同じ寸法であった。

40:36 その控え室も壁柱も玄関の間もほかのと同じ寸法で、その周囲に窓があった。門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトであった。

40:37 その玄関の間は外庭に面し、両側の壁柱には、なつめ椰子の木が彫刻してあった。階段は八段であった。

40:38 門の壁柱のそばには戸のある部屋があり、そこは全焼のささげ物をすすぎ洗う場所であった。

40:39 門の玄関の間の両側には、全焼のささげ物、罪のきよめのささげ物、代償のささげ物を屠るための台が、それぞれ二つずつあった。

40:40 北の門の入り口へ上って行くと、外側に二つの台があり、門の玄関の間のもう一つの側にも二つの台があった。

40:41 すなわち、門の片側に四つの台があり、もう一つの側に四つの台があり、この八つの台の上でいけにえを屠るのであった。

40:42 また、全焼のささげ物のために四つの

台があり、長さ一キュビト半、幅一キュビト半、高さ一キュビトの切り石であった。その上に、全焼のささげ物やいけにえを屠るための道具が置かれていた。

40:43 内側には、周囲に一手幅の鉤が取り付けられてあり、ささげ物の肉は台の上に置かれるようになっていた。

40:44 内門の向こうには歌い手たちの部屋があり、北門のわきにある部屋は南を向き、南門のわきにある部屋は北を向いていた。

40:45 彼は私に言った。「この南向きの部屋は、神殿の任務に当たる祭司たちのためのものであり、

40:46 北向きの部屋は、祭壇の任務に当たる祭司たちのためのものである。彼らはツアドクの子孫であり、レビの子孫の中で

【主】に近づいて仕える者たちである。」

40:47 彼が庭を測ると、長さ百キュビト、幅百キュビトの正方形であった。祭壇は神殿の前にあった。

40:48 彼が私を神殿の玄関の間に連れて行って、玄関の間の壁柱を測ると、両側とも五キュビトであり、その門の幅は十四キュビト、その門の両脇の壁はそれぞれ三キュビトであった。

40:49 玄関の間の長さは二十キュビト、奥行は十一キュビトであった。そこへ上るのに階段があり、両側の壁柱の

回復した神殿には「いけにえをほふる」ための台があります。完全な神様の回復にもやはり、ほふられたいけにえとして救いを成し遂げてくださったイエス様は不可欠であり、中心なのです。

主を、そしてイエス様の十字架を中心に据えて、回復の恵にあずかりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

